

福島復興と廃炉の両立に向けた取組み

2021年10月11日

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

地域共生センター 所長

山崎 道也

1. 復興と廃炉の両立に向けた福島の方々への『お約束』 1

- 福島第一原子力発電所は、これまで目の前のトラブル対応に注力。
- 現在は現場も落ち着き、計画的な作業が可能になったことから、廃炉中長期実行プランと合わせて公表(2020年3月)。



2. お約束の3つの柱と主な活動

福島復興を加速していくには、この地で廃炉関連産業が活性化し、雇用や技術が生まれ、その成果が他の地域や産業に広がることが重要。

ひらく

地域の皆さまにとって、
もっとひらかれた
廃炉の現場に

- 事業見通しの積極的な公開
- オープンな参入環境の整備

つくる

地域の一員として、
地域の未来づくりに

- 地元経済の基盤創造
- 人材育成

やり遂げる

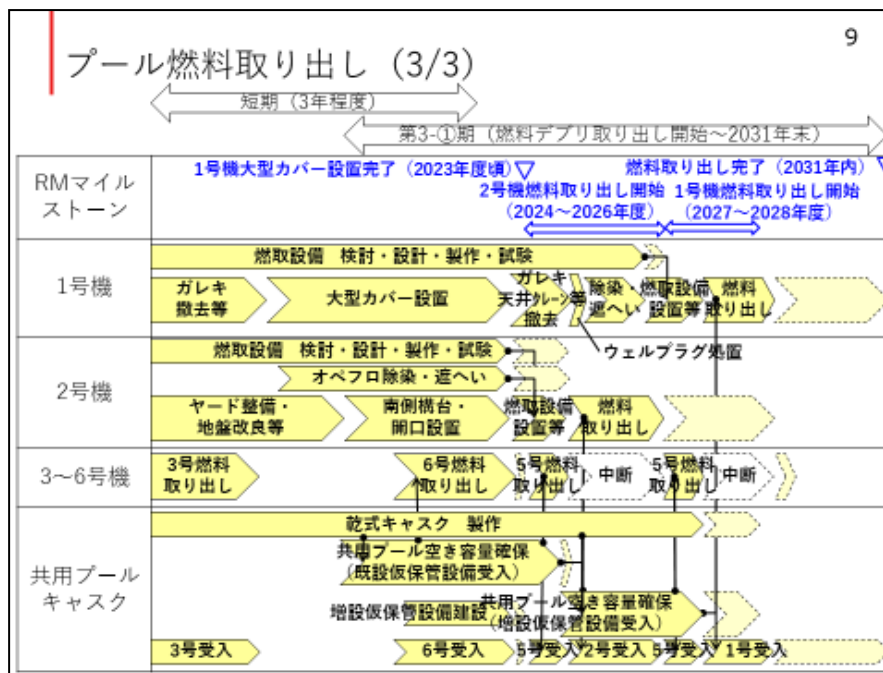
地域の安全・安心
を最優先に

- 計画的な廃炉
- 地域の安全・安心の確保

地元企業の皆さまが福島第一廃炉事業にご参画しやすくなることを目的とした廃炉中長期発注見通しの説明を実施。

- 「廃炉中長期実行プラン2020」では、向こう10年程度の廃炉全体の主要な作業プロセスを公開

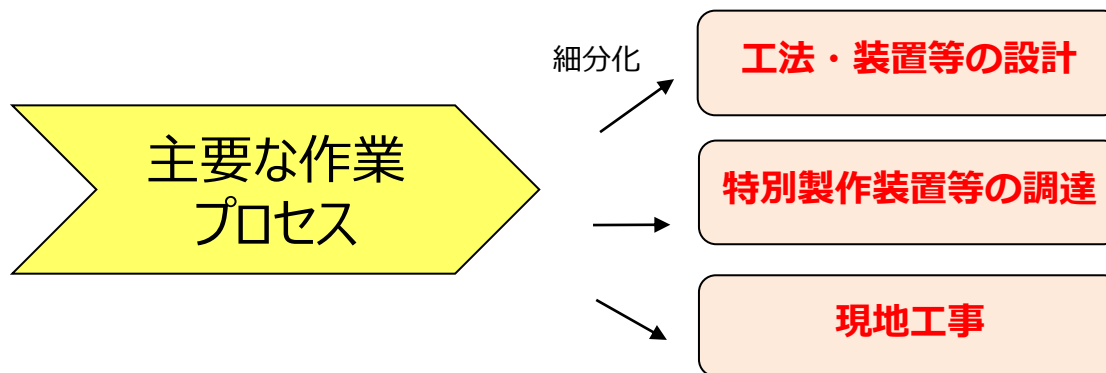
ひらく



廃炉全体の主要な作業プロセス
(例. プール燃料取り出し)

ひらく

- 主要な作業プロセスひとつひとつに対して必要な調達内容がみえてきたものから細分化してご説明



- 2020年度から元請企業説明を実施



2020.9・2021.3 (元請企業2回)

- 廃炉中長期発注見通し資料をわかりやすく説明するためのオンデマンドコンテンツ製作を進めています。

ひらく

本書の内容を本来の目的以外に使用することや、
当社の許可なくして複製・転載することはご遠慮ください 東京電力ホールディングス(株)

「中長期発注見通し」説明会

～ 廃炉事業の見通しと必要な機材・技術等 ～

- 長期に亘る廃炉作業を進めていくにあたっては「復興と廃炉の両立」の大原則の下、より一層のリスク低減や安全確保を最優先としつつ、**地域とともに廃炉を着実に進めていく**ことが重要と考えています。
- 福島の復興加速に向けては、この地で廃炉関連産業が活性化し、雇用や技術が生まれ、その成果が他の地域や産業に広がっていくことが重要であり、当社は、その実現に向け、地域の一員として全力を尽くしてまいります。

2021年3月 東京電力ホールディングス株式会社

ご覧いただいているコンテンツは東京電力ホールディングス株式会社より、福島第一原子力発電所の廃炉作業に関する「中長期発注見通し」として、

TEPCO

© Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 印刷複製・複製禁止 東京電力ホールディングス株式会社 2021.03

今後の廃炉カンパニーの発注見通しの考え方

2

- 2020年3月に公開した「廃炉中長期実行プラン2020」において、向こう10年程度の廃炉全体の主要な作業プロセスを公開いたしました。これに基づき、廃炉事業の見通しと必要な機材・技術等についてお伝えいたします。
- 今後は発注内容（下請げや部品単位での供給の可能性含む）を、**工法・装置等の設計（エンジニアリング；E）、特別製作装置等の調達（プロキュアメント；P）、現地工事（コンストラクション；C）**まで分解して整理いたします。
- 上記の整理によるさまざまな組合せを使い分けて発注することなどにより、地元の各社さまが得意な分野でご参画しやすくなることを目指してまいります。
- 取りまとめた発注内容から、地元調達の拡大につなげる仕組みを検討しています。



右下の図は、発注分離の考え方をお示したものです。工法・装置等の設計、特別製作装置等の調達、現地工事に分解して整理いたします。